PBT Plastic welding rod,有限会社ティークラフト,R11-XX-YY-ZZ

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: PBT プラスチック溶接ロッド（PBT plastic welding rod）
- 製品品番: R11-XX-YY-ZZ 他
- 推奨用途: 自動車ボディショップで使用される溶接プラスチック部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に煙霧や分解生成物が上気道を刺激する可能性あり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガスが発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。溶接時に煙霧を吸い込まないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 単一製品（ポリマー）
- 成分情報:
  - ポリブチレンテレフタレート（PBT）: 含有量 100%、CAS 番号: 26062-94-2

4. 応急処置

- 目に入った場合: 直ちに大量の水で 15 分以上洗い流すこと。刺激が発生した場合は、医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。溶融した高熱の材料が皮膚に接触した場合は、冷たい水等で直ちに冷却すること。付着物を無理に剥離しようとすると重度の組織損傷を引き起こすため避け、速やかに病院での治療・医師の診察を受けること。
- 吸入した場合: 溶接ガスや煙霧を吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動させ、人を落ち着かせ、必要に応じて呼吸を補助し、医師の相談・診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の経口摂取は想定されない。万が一飲み込んだ場合は、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水スプレー（水噴霧）、泡、乾燥粉末。
- 消火手順: 消防士は自給式呼吸器（SCBA）および防火服等の適切な保護具を装備して消火にあたる小空間では退避すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 固体状のため特別な予防措置は必要ない。散乱した場合は回収し、適用される規制に従って廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 店舗や作業場の換気を徹底すること。産業衛生および安全のための適切な取扱いに従うこと。飲食区域に入る前に、汚染された衣服および保護具を取り外すこと。手や顔は休憩前や交代の終わりに洗うこと。使用中は飲食や喫煙をしないこと。
- 保管: 涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。過度の熱や火気を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし

- 設備対策: 排気システムを介して溶接ヒューム（煙霧）を除去するとともに、職場に新鮮な空気を継続的に供給すること。

  SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf

- 保護具:
  - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や、換気が得られない場所で作業を行う場合は、溶接ヒュームから保護するための適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク・防塵マスク等）を着用すること。

    SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf 他 1 件

  - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋（またはニトリル手袋等）を着用すること。

    SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf 他 1 件

  - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、サイドシールド付きの安全眼鏡またはゴーグルを着用すること。

    SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf

- 衛生対策: 優れた個人衛生を使用する。作業場で食べ物を消費したり保管したりしないこと。喫煙や食事の前に手を洗うこと。

  SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf 他 1 件

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 黒いプラスチック製の棒（直径約 3mm 等のロッド）

  SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf 他 1 件

- 臭い: 無し

  SDSR11. PBT プラスチック溶接ロッド l.pdf

- pH: 決まっていない
- 融点: 220 ～ 230℃（425 ～ 445° F）
- 発火温度: 350℃（662° F）
- 分解温度: > 290℃（550° F）
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 規定された/指示されたとおりに保管および取り扱えば安定。
- 避けるべき条件: 290℃（550° F）を超える温度（過熱による熱分解を避ける）。
- 混触危険物質: 避けるべき物質は知られていない。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。
- 危険な分解生成物: 一酸化炭素、テトラヒドロフラン、テレフタル酸、二酸化炭素、水。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 指定された用途に適切な予防措置を講じて推奨されるように取り扱われた場合、感作性、反復投与毒性、慢性毒性・発がん性、生殖毒性などの健康への悪影響は予想されない。眼に対しては機械的刺激を引き起こすおそれがある。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。

12. 環境影響情報

- 残留性・分解性: この製品は実質的に水に溶けないため、適切な排水処理施設で機械的に水から分離することができる。
- 生態毒性: 製品はテストされていないが、構造から派生して水生生物に急性に有害ではない可能性が高い（実質的に非毒性と予想される）。
- 生体蓄積性: その粘稠度と水への不溶性のために、すぐには生物学的に利用できない。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: リサイクルの可能性を確認する。地方自治体の規制（廃棄物処理法等）に従って、適切な焼却プラントで焼却処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（輸送規制の下では危険物として分類されていません）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019
    - JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。